



～ 夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第80号
平成31年2月6日

河津町議会だより

12月定例会

年頭のあいさつ	2
町長の施政方針	3
定例会(要旨)	5
一般質問	6～12
議員研修	13～14
私も一言(細川平吉さん)	15



QRコード



町制60周年記念式典オープニングセレモニー



岸 重宏 町長

複合施設の建設予定地として埋蔵文化財調査作業終了時のまま管理して

●**笹原地区河津郵便局前町有地管理**

複合施設の建設予定地として埋蔵文化財調査作業終了時のまま管理して

- 笹原地区河津郵便局前町有地管理**
- 平成31年度予算編成方針**

河津町第4次総合計画を基に、健全な財政運営を堅持しつつ次世代に引き継ぐ新たな河津町の創設を目指し4つの重点課題を設定。

- (1)子育て・教育環境の充実強化、(2)防災・減災対策、(3)観光地としてのグレードアップ、(4)行政運営の効率化と開かれた行政への推進

平成30年第4回定例会行政報告(抜粋)

おりましたが、10月11日から26日までの期間で伊豆縦貫自動車道整備工事の発生土を活用し埋め戻し作業を実施。

●**地域防災訓練**

「12月の地域防災の日」に、町では一人ひとりの防災意識の高揚を図るべく、「たすけあい 知恵と力と おもいやり」を訓練テーマに参加人員2219名が参加、各地区で訓練を実施。

●**避難所の追加**

町内各地区の公民館をはじめとした32カ所の避難所に、新たに「河津町保健福祉防災センター」を避難所として指定。

●**町制施行60周年記念式典・町表彰式**

河津バガテル公園オーラソジェリーにおいて、町政施行60周年記念式典・河津町表彰式を多くのこ

来賓の皆様にご臨席を賜り、記念式典を行い、町の発展に寄与された方々に、功労表彰3名、有効表彰を2名、長年に渡る活動により貢献された1名、8団体に感謝状を贈呈。

●**岩手県普代村へ河津桜寄贈**

東日本大震災の復興協力支援として、河津桜125本を寄贈し、町長、議長、町職員2名が、記念植樹式に出席。

●**平成30年度の町税収納状況**

町税収納状況は、10月末現在収納率58.9%で、前年比1.7ポイント増、国民健康保険税は、収納率51.2%で前年比1.0ポイント増となっており、今後も納期内納付の推進を図ると共に滞納額縮減に努める。

年頭のあいさつ

河津町議会議長 土屋 貴

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は町議会に對しましては、深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は、天皇陛下のご退位と皇太子殿下のご即位に伴い年号も平成から新しい年号に変わります。すべての人々がおだやかで、しあわせが感じられる時代になるよう願うところです。

河津町の将来を見ると、技術革新の進歩により、AIの本格活用・通信手段の4Gから5Gへ・伊豆縦貫自動車道の全線開通など、生活面や産業構造の変化により仕事の進め方など多くの環境が変わると言われています。今、重要な課題の一つである「子育て支援策」については、あと20年もしない間に、賀茂地域の年間出生者数見込みが約136人に、河津町においては約21人になるとの予測が出ています。過去の動きと異なり、急激に変化すると言われています。

我々議会においては、議会改革に取り組んでまいります。議会改革といっても多くの課題があり、時間もかかります。まずは、できることから始めようと、第一・第二常任委員会がそれぞれのテーマを決めました。第一常任委員会は、地域公共交通システムの研究、第二常任委員会は小中一貫教育を中心とした教育環境の整備をテーマとして1月より活動しております。その内容については議会の場での報告などを通じて、町民の皆様にもお知らせする努力をし、時代に対応した議会になるよう目指してまいります。

結びに、どうか本年も変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。

●**エコクリーンセンター 東河基幹的設備改良工事**

エコクリーンセンター 東河は、2カ年の計画で大規模改修を実施しております、この度、基幹計量器の更新を行い、11月20日から新しい機械で稼働。

●**子育て支援施設整備**

子ども・子育て会議より、10月19日に答申書の提出があり、その内容は、施設建設の候補地、施設

の内容、施設の運営に対する配慮等が含まれ答申は町ホームページでも掲載。

●**第2期子ども・子育て支援事業計画策定業務**

今年度は子育てニーズ調査を行い計画策定するために、470万8千8百円(株)サーベイリサーチセンター静岡事務所と契約。

道路・橋梁事業契約

- 町道鍛冶屋沢線舗装補修工事 丸三工業(株) 1,566万円
- 町道荻ノ入1号線舗装補修工事 世紀東急工業(株)伊東営業所 266万7千6百円
- 浜地区道路施設改修工事 (有)加畑組 756万円
- 笹原地区道路施設改修工事 (株)大塩組 324万円
- 町道見高仲ヶ野向畑線(無名橋20)橋梁補修工事 (株)大塩組 486万円
- 町道見高川西川上線(水神橋)橋梁補修工事 東海建設(株) 313万2千円
- 町道佐ヶ野1号線改良工事 東海建設(株) 2,322万円
- 町道湯ヶ野・小鍋1号線(小鍋橋)橋梁補修工事 齊藤土木(株) 853万2千円

●森林・林業振興事業
登尾町有林森林整備業務を、(株)いしい林業が623万1千6百円で契約。

●かわづ花の会

第28回全国花のまちづくりコンクールにおいて、かわづ花の会後援地区が、団体部門において入選。

●伊豆縦貫自動車道関係

大鍋・小鍋地内で、本線の橋梁下部工事や工事用道路の施工が、また逆川地内では、トンネル工事と国道414号の切回し道路等の施工が順調に進んでおり、近隣住民の皆様にはご迷惑をお掛け致しますが、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

●学校教育施設関連事業

河津中学校武道場天井改修工事は、1134万円で東海建設(株)が契約した。空調設備設置事業は、国の平成30年度補正予算において、ブッロク塀・冷房設備対策臨時

特別交付金が設けられ、この制度を活用し、熱中症対策等として、町内小中学校の普通教室及び幼稚園の遊戯室への設置を行う。

●社会教育事業

B&G海洋センター体育館改修工事は、東海建設(株)が3834万円で契約した。10月7日に河津町民体育大会が開催された。第37回河津町民文化祭が南小学校体育館で行われた。第17回河津町青少年の主張大会が河津町保健福祉センターふ

れあいホールで開催された。第2回「伊豆の踊子」読書感想文コンクールを開催し、最優秀者1名・優秀者2名を、第14回伊豆の踊子文学祭において、表彰した。12月1日に第19回しずおか市町対抗駅伝競走大会が開催され、町の部で2年連続第6位に入賞、人口1万人以下の町の部で1位に贈られるふると賞も受賞。

水道事業契約

- 農免配水池更新工事
東海建設(株) 2,041万2千円
- 入草配水池水位監視システム
協立電機(株) 378万円
- 浜・笹原配水池水位監視システム
協立電機(株) 356万4千円
- 下佐ヶ野配水池ペーハー監視システム
協立電機(株) 324万円

平成30年河津町議会 第2回臨時会

10月11日に第2回臨時会が開催された。

【国民健康保険運営協議会委員】

町議会議員選挙を受け、議席番号の指定と議長、副議長及び委員会の担当議員が決まった。

議長 土屋 貴

【一部事務組合議会】

副議長 上村 和正

伊豆斎場組合

監査 仲 里司

渡邊 弘

【第1常任委員会】

宮崎 啓次

委員長 遠藤 嘉規

下田地区消防組合

副委員長 桑原 猛

桑原 猛

上村 和正

遠藤 嘉規

仲 里司

東河環境センター

土屋 貴

大川 良樹

宮崎 啓次

塩田 正治

【第2常任委員会】

稲葉 静

委員長 塩田 正治

下田メデイカルセンター

副委員長 渡邊 昌昭

渡邊 昌昭

大川 良樹

仲 里司

渡邊 弘

【議会広報編集委員会】

稲葉 静

委員長 上村 和正

副委員長 塩田 正治

副委員長 大川 良樹

桑原 猛

桑原 猛

上村 和正

渡邊 昌昭

塩田 正治

渡邊 昌昭

桑原 猛

遠藤 嘉規

渡邊 昌昭

遠藤 嘉規

遠藤 嘉規

平成30年 第4回定例会議案(要旨)

12月11日から第4回定例会が開かれた。

9月に行われた町議選を経て3名の新人議員を迎え、初めての定例会となった。

日程は12月11日、12日の2日間。

議案は人事案件1件

条例案件2件

規約協約案件2件

補正予算案件4件

議員発議による意見書

でそれぞれ質疑応答の結果いずれも可決された。

一般質問は7名の議員が行い2日間で24名の方が傍聴された。

人事案件

●同意第6号

固定資産評価審査委員会委員の選任について
堤 哲彦(笹原)

●議案第48号

河津町職員の給与に関する条例の一部を改正する

条例について

宿日直手当の一部変更と勤勉手当の一部変更。

●議案第49号

河津町職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例について
通勤手当、時間外勤務手当などの各種手当の追加。

●議案第50号

下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町および西伊豆町における幼児教育アドバイザーの共同設置規約の制定について
1市5町間で幼児教育アドバイザーを共同設置した。

●議案第51号

賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更について
賀茂地域の広域連携に係る連携協約の一部を議案第50号の制定により変更した。

●議案第52号

平成30年度河津町一般会計補正予算(第4号)
歳入歳出それぞれを4843万7千円を追加。債務負担行為補正及び地方債補正をそれぞれ行った。

●議案第53号

平成30年度河津町介護保険特別会計補正予算(第3号)
歳入歳出それぞれを616万5千円を追加。

●議案第54号

平成30年度河津町水道事業会計補正予算(第2号)
河津町水道事業費(職員給与与分)の額を補正した。

●議案第55号

平成30年度河津町温泉事業会計補正予算(第2号)
河津町温泉事業費(職員給与与分)の額を補正した。

●議員発議による意見書

静岡地方裁判所沼津支部における労働審判の実施を求める意見書
静岡地方裁判所の沼津支部において労働審判事件の取扱いを開始すること。

そのための必要な裁判官及び裁判所職員の増員、物的施設の整備を行うこととを内閣総理大臣ほか地方自治法の規定により意見書を提出した。

【香りのバラ】

- 品種名: ドフトボルケ (朱赤)
- アレックスレッド (赤)
- ラ・フランス (うすピンク)
- マダム・ピエール・ユレール (ピンク)
- エンジェルフェイス (むらさき)

食用のバラとして使えるように、特に農業使用について研究栽培中です。主に、野菜に使用できる農薬の中から、さらに安全性の高いもの(原料が重そう、植物油など)。また、BT剤といい、微生物から作られた殺虫剤など、人や環境に優しい農薬を使用しています。新しいバラの利用や楽しみ方が広がれば良いと思います。



町政を問う

一般質問



おおかわ よしき 大川 良樹 議員



整備された旧南中学校跡地

質問：渋谷区保養所を活用した受け入れの交流状況、また今後、河津町からの渋谷区への交流状況は。

回答：渋谷区民の広場」において観光宣伝を兼ねた物産販売等を行ったり、防災の他、行政間の繋がりが多岐にわたり色々な分野で広がりを見せており、その一つとして、青山学院大学と

共同開催ができています。当町からも「渋谷区民の広場」において観光宣伝を兼ねた物産販売等を行ったり、防災の他、行政間の繋がりが多岐にわたり色々な分野で広がりを見せており、その一つとして、青山学院大学と

町政を問う

一般質問



わたなべ ひろし 渡 邊 弘 議員



ふれあいまつりの様子

質問 庁内規律と対応・子育て施設の必要性と機能

質問：交通違反による職員の見直し、対応は。

町長：公務員としての自覚不足が招いた。町民の皆様にお詫び申し上げます。事実関係を把握し対処いたします。

副町長：全職員に町長の訓示を行い注意をした。起訴されていない状況なので職場復帰をさせた。

質問：どんな政策のもと、子育て施設が必要か。機能はどんなものか。町長：子育てしやすい環境づくり。一時預かり、子育てサロン、児童館などの機能を考えている。

質問 来年度予算オール河津で取り組むテーマは

質問：オール河津で取り組むテーマは。

町長：決まったものではなく、情報の共有と共に議会と町民が一緒に取り組むこと。町長：決まったものではなく、情報の共有をし議会・町民が一緒に取り組むこと。

町長：プレミアム商品券は商工会で予定されていないこと。江東区、ふれあいまつりは産業経済活性化連絡協議会の事業で、町としては撤退する方向で提案をした。

町長：プレミアム商品券は商工会で予定されていないこと。江東区、ふれあいまつりは産業経済活性化連絡協議会の事業で、町としては撤退する方向で提案をした。ふれあいまつりはマナーの月の実施を検討している。着地型のイベントを

質問 旧南中学校跡地を駐車場利用できるのか

質問：第29回河津桜まつりに於いて旧南中学校跡地を、駐車場として利用できるのか。

町長：当該地は、伊豆縦貫道の発生土を活用し、10月末に埋め戻し完了、跡地利用も可能な状況に

また、河津桜まつり実行委員会から桜まつり期間中の駐車場利用の要望があり、これを受け砕石舗装をし、当該地の活用方針が決定するまでの間、河津桜まつり期間中は臨時駐車場として活用し、他の期間は、従前の通り、周辺学校施設、園児・児童、保護者の送迎用駐車場スペースとして効果的利用を図りたい。

質問 災害協定を結ぶ渋谷区との交流事業の状況は

質問：渋谷区保養所を活用した受け入れの交流状況、また今後、河津町からの渋谷区への交流状況は。

回答：渋谷区民の広場」において観光宣伝を兼ねた物産販売等を行ったり、防災の他、行政間の繋がりが多岐にわたり色々な分野で広がりを見せており、その一つとして、青山学院大学と

共同開催ができています。当町からも「渋谷区民の広場」において観光宣伝を兼ねた物産販売等を行ったり、防災の他、行政間の繋がりが多岐にわたり色々な分野で広がりを見せており、その一つとして、青山学院大学と

共同開催ができています。当町からも「渋谷区民の広場」において観光宣伝を兼ねた物産販売等を行ったり、防災の他、行政間の繋がりが多岐にわたり色々な分野で広がりを見せており、その一つとして、青山学院大学と

町政を問う

一般質問



えん どう よし のり 議員
遠藤嘉規



国道の矢羽根型表示

質問：東京オリンピック
自転車競技の伊豆開催に
合わせ、伊豆圏域全体で
自転車に関する取り組み
が行われているが、河津
町の受け入れ態勢が整っ
てないように感じる。
町長：町内の拠点施設に
レンタサイクルの設置や
自転車置き場などを設置
して対応している。

質問：車と自転車が安全
に共存する方法を考える
必要がある。
町長：伊豆の道は狭く自
転車専用レーンを作る事
は難しい。県との協議で
路面に青い矢印と自転車
のマークを表示して、自
転車の走行空間を示すこ
とで、自転車と車、相互
に注意喚起をうながす取

り組みが始まる。
産業振興課長：県では伊
豆地域で「矢羽根型路面
標示」の整備を始めてい
る。整備ルートは3つ。
半島周回ルートは主に国
道136号、県道沼津・
土肥線、国道135号。
半島横断ルートは県道伊
東・大仁線、半島縦断ル
ートは国道414号。

答え 県との協議で路面に矢羽根型表示の整備を進めている

質問 サイクリストの受け入れ態勢は

質問：国の補助やスケ
ジュールなど進捗状況は。
町長：国の補助は厚く
なった。計算上では、従
来約51%が町の負担で
あったものが、約27%の
負担に大幅に軽減された。
設置予定箇所は幼稚園が
遊戯室（教室は既に設置
済み）。小学校と中学校
は普通教室と給食配膳室。

質問：国や県の教育方
針を踏まえ、新しい教育
方法なども研究しつつ、
河津町の子供たちの成長
や、発達を促す適切な教
育施策を進めていきたい。

今年度中に発注をして、
何とか来年の夏までに設
置をしたいという思いか
ら計画を進めている。命
にかかわるような異常な
気象状況を考えると、子
供たちの健康も心配され
る、来年夏前までに事業
完成を目指したい。

答え 今年度中に発注して6月完成を目指す

質問 学校エアコン導入の進捗は

質問：国の補助やスケ
ジュールなど進捗状況は。
町長：国の補助は厚く
なった。計算上では、従
来約51%が町の負担で
あったものが、約27%の
負担に大幅に軽減された。
設置予定箇所は幼稚園が
遊戯室（教室は既に設置
済み）。小学校と中学校
は普通教室と給食配膳室。

質問：複式学級が目前に
迫るなか、小学校の統合
についてどのような進捗
状況か。
町長：学校教育整備検討
委員会の答申が近く出る
予定。（12月19日答申）
施設整備の関連性は放課
後児童クラブについては
小学校の敷地内に設置す
るのが望ましいとの答申

質問：統合された小学校
は、中学校に隣接または
小中一貫校なども視野に
入れてはどうか。
教育長：国や県の教育方
針を踏まえ、新しい教育
方法なども研究しつつ、
河津町の子供たちの成長
や、発達を促す適切な教
育施策を進めていきたい。

答え 学校教育整備検討委員会の答申を受け検討していく

質問 小学校の統合は

質問：観光客を呼び込む
ための地域振興ワーク
ショップの結果や町の考
え方について。
町長：IC周辺の地区役
員とワークショップを
行って意見を聴取し、日
大の学生も参加し検討し
た。年度末までには大枠
をまとめ検討したい。
質問：川横地区は住宅が

もあり施設計画の中に含
めたい。
質問：統合される場合、
どのようなスケジュール
になるのか。
教育長：答申を受けて決
めていくが、近隣の市町
の学校再編の進捗状況を
見ると大変慎重にきめ細
かく時間をかけて進めら
れている。

要望窓口はどこか。
町長：町は国の事業に協
力しながら住民の生活を
第一に考え、国の現場事
務所に直接伝えて解決に
向けて調整している。
建設課長：周辺の皆様は
迷惑をおかけしている
が、役場建設課へ連絡い
ただき、その都度、対応
していく。

答え 住民の生活を考え検討していく

質問 伊豆縦貫道河津IC周辺の整備は

町政を問う

一般質問



工事中の河津I.C.周辺



わた なべ まさ あき 議員
渡邊昌昭

質問 小学校の統合は

質問：観光客を呼び込む
ための地域振興ワーク
ショップの結果や町の考
え方について。
町長：IC周辺の地区役
員とワークショップを
行って意見を聴取し、日
大の学生も参加し検討し
た。年度末までには大枠
をまとめ検討したい。
質問：川横地区は住宅が

もあり施設計画の中に含
めたい。
質問：統合される場合、
どのようなスケジュール
になるのか。
教育長：答申を受けて決
めていくが、近隣の市町
の学校再編の進捗状況を
見ると大変慎重にきめ細
かく時間をかけて進めら
れている。

要望窓口はどこか。
町長：町は国の事業に協
力しながら住民の生活を
第一に考え、国の現場事
務所に直接伝えて解決に
向けて調整している。
建設課長：周辺の皆様は
迷惑をおかけしている
が、役場建設課へ連絡い
ただき、その都度、対応
していく。

答え 住民の生活を考え検討していく

質問 伊豆縦貫道河津IC周辺の整備は

町政を問う

一般質問



くわ はら たけし 議員
桑原 猛



かさ上げを検討している護岸

質問：町における75歳以上の方で要介護認定をされない、介護サービスを受けていない等の、比較的自立している一人暮らしや世帯の方々の見守り体制の現状と今後の対策をお伺いしたい。

町長：現在、各地区の民生委員による相談・支援、一人暮らし老人等の緊急事態に対応するため、緊急通報システム、町内の12の事業所との見守り活動の協定等を行っている。健康福祉課長：今後の見守りの対策として、地域で高齢者等を見守っていくネットワークの体制づくりの強化が必要となる

答え 地域ケア会議、生活支援体制整備により強化

質問 見守り体制の現状と今後の対策は

質問：町として津波発生時の対策を多方面から検討されていると思うが、現在の進捗状況と今後の予定は。

町長：対策として静岡方式を採用し、関係地域の皆さんに協議をしていたが、結果既設護岸のかさ上げ等の施設整備を行う

答え 河津地区は河川整備計画とともに静岡県と計画策定

質問 レベル1の津波対策の進捗状況と今後の対応は

質問：町として津波発生時の対策を多方面から検討されていると思うが、現在の進捗状況と今後の予定は。

総務課長：浜・谷津・笹原3地区で河津地区協議会、見高浜は見高地区協議会として施設整備方針が決定され、事業化に向けて河津地区は静岡県の河川整備計画見直しとともに合わせて整備が進められていくこととなっている。

いる。また見高地区と河津川河口左岸の河津浜海岸の一部は、漁港区域になっておりますので、町で事業化に向けて今後調整を進める予定。

町政を問う

一般質問



現在の放課後児童クラブの様子



しお だ まさ はる 議員
塩田 正治

質問：一次産業の中核を担っている農業人口が激減している。今後の対策はどう考えているか。

町長：大変難しいが、省力化・農地の集約化・後継者の育成等、長いスパンでいろいろな考えて行きたい。

産業振興課長：移住者の方が農地を確保するには、さまざまな基準がある。また、相当な覚悟と資金も必要となる。本格的に生計を立てる場合は、事前に相談していただきたい。町としても県などと相談して支援をしていく。

答え 省力化・農地の集約化等長いスパンで考える。

質問 急激な農業人口の減少について対策は

質問 放課後児童クラブは南小学校の教室を使えるか

答え 国へ申請が必要、学校とも検討中

質問：子ども子育て会議の答申を受け、放課後児童クラブは他の施設と切り離し、南小学校の敷地内を適地としているようだが、空き教室については以前は空いていない。ということだったが、使用できるのか。

教育長：学校施設の目的外使用は禁じられているので、教室は分離し、玄関は別にしなければならぬ。現在、南小学校と検討している。

町長：中学校周辺と役場周辺の2カ所の答申を受けた。いろいろな角度から検討していただき、18カ所の中から絞られた。検討した議論の過程をみても、この2カ所が適地であると結果として思っている。



賀茂郡町議会研修会

「河津町の良いところ100個言えますか？」

平成30年度 賀茂郡町議会議員研修会を平成30年10月19日に河津町健康福祉センター「ふれあいホール」において行った。

研修内容は講師に東海大学文学部広報委員会メディア学科教授河井孝仁先生を迎え「地域の魅力を創る取り組み シティ

ープロモーションという発想」について講話をしていただいた。全国のまちづくりを例に挙げお話をいただき、参考になった。中でも印象に残ったの

は、町を良くしたいと思うなら町民全体が町を好きになることがまず先決である。その手段として100個町の良いところを見つけているところから始めようとのことであった。すると町の取り組み、強化しなければいけない事項、新しく取り組まなければならない事項が、おのずと見えてきて、河津式町づくりができあがるのではと感じた。

天野かおり氏を講師に「地域学校協働活動の推進に向けて」を演題に講演を受講した。

第2常任委員会

平成30年11月14日第2回東部社会教育関係者等研修会が東伊豆町役場で行われ、第2常任委員長が出席した。

その後関係者11グループ、行政職員を5グループに分け、テーマ「これからの学校地域連携・協働の姿」社会教育委員や行政職員はどう関わるかについて、グループワークを展開し、活発な議論・討論が行われた。

一般質問

町政を問う



いなば 静 議員



荒倉橋付近の河津川

質問 新年度予算について

答え 4つの重点テーマにそって編成

質問：新年度予算の重点施策は。

町長：来年度予算の編成方針として、地方財政の

取り巻く状況が厳しい中、健全な財政運営を維持しつつ、次世代に引き継ぐ新たな町の創生を目指し、各種施策を推進していく。

観光地としてのグレードアップとして、踊り子歩道の一部、川久保橋の架け替えは。

体計画の中で、いろいろな条件を整理した上で最終判断していきたい。

質問 美しう街びるプロジェクト

答え 合併浄化槽設置により汚染対策を進めていく

質問：河津川の雑草対策、下田土木と協議の中で、峰橋から館橋の間、お願いできないか。

所では、除草工事を発注して対応している。今年度も、河津桜まつり前に河川維持修繕事業により既に発注済みで、12月から1月に実施するとのこと。

町長：河津川は、静岡県管理の河川ですが、各地域団体にお願ひし、年2回程程度堤防の草刈りを実施している。

質問：河津川の水質検査の実施場所と結果を。

町民生活課長：水質検査は、4カ所で年4回実施しております。検査項目6項目を調査しており、すべて、環境基準値以下でした。



※講師の著書を紹介いたします。興味のある方は参考にしてはいかがでしょうか。

白馬村表敬訪問及び行政視察研修

11月28・29日に、議員及び議会事務局2名の13名で姉妹都市の長野県白馬村を表敬訪問した。白馬村との姉妹都市交流は、昭和57年から続いている。白馬村は、人口8900人、一般会計予算は当町の1・5倍で約60億円、職員数約1000名、議員数12名（女性議員は3名）、副村長は2名で内1名は、総務省からの出向である。行政視察研修の内容は、「議会改革」「デマンド型乗合タクシー」「白馬高校の取組み」「移住定住対策」などの説明を受けた。

●**議会改革**
白馬村議会は平成18年から調査検討をはじめ、議会改革に取り組んできた。直近では議員の成り手不足に対応するため、議会改革調査特別委員会



●**デマンド型乗合タクシー事業**
平成21年より10人乗りのジャンボタクシーをタクシー会社が運行している。予約の受け付けを社会福祉協議会が受け1人300円で村内の主要な場所に行く事ができる。平成29年度、運行実績は240日、2台の乗り合いタクシーで1日16便を運行し、主に高齢者や運転免許証を持たない移動制限者約8000人を輸送するのに、約950万円を一般財源から支出している。

●**白馬高校魅力化プロジェクト**
村内にある県立白馬高校が高校再編基準に抵触するため、平成5年に懇話会を設置、平成19年白馬高校魅力づくり検討委員会設置、平成28年新学科「国際観光学」開科、寮を完備した全国募集、公営塾の設置と運営を行う。



自治体の具体的な支援内容は、語学、観光教育等への支援、ICT、海外短期留学への補助。進学希望者に対応した公営塾の運営。全国募集の体制づくり、寮の整備、管理と学習研修体制づくりと補助。スキー部に対する専門家の指導体制、大会時の遠征費の補助、スキー用具購入費の一部補助などがある。

しろうま学舎（公営塾）しろうまPal House（寮）は、施設管理組合を設立し、地域おこし協力隊4名が従事している。

平成30年度高校支援事業予算は、約1億9千万円。特別交付税措置などを除き、白馬村負担金は約6200万円である。また、大学卒業後に村に戻ってくる人には、奨学金の返済免除ができるよう、企業型ふるさと納税を活用した奨学金基金設立の設置を検討している。

一部事務組合

●**東河環境センター議会**
平成30年10月23日、エコクリンセンター東河において、臨時議会が開催された。

河津町議会議員選挙の人事改選にともない、河津町議会の塩田正治委員が、副議長に選出された。また、初選出の委員が



浜北斎場外観



浜北斎場火葬炉設備

伊豆斎場組合議会視察研修

多かったので、センター職員に施設を細部にわたり案内していただいた。

下田市にある現在の施設の老朽化による建て替えが計画されており、10月25、26日に視察研修を行った。

県内浜松市浜北斎場、菊川市東遠地区聖苑の両施設を訪問し、建設経緯、運営状況を伺い、火葬炉

下田メディカルセンター議会

や環境汚染防止設備及び駐車場、待合室、トイレなど利用者への配慮等全般にわたっての意見交換も行った。

11月12日全員協議会が開催され、免震オイルダンパー検査データ改ざん問題の対応状況について、旧共立湊病院跡地等の土壤汚染調査の結果及び今後の対応について説明がなされた。

免震ダンパーについては製造会社の責任において交換を含めた対応を要請する。旧病院跡地の検出された汚染物質は除去処理することを基本とする。

私言

かわつ花の会 会長 細川 平吉



「河津町表彰を受けて」

かわつ花の会では、花と緑を愛し快適で住みよい環境づくりを目的に酷暑や寒風吹くなか、12地区会員81名が花壇の手入れ等をして、町民や町を訪れる観光客の心を和ませ花の町かわつ支えの一端を担っています。

平成19年度から毎年続けている河津桜の保護育成（剪定・肥料等）の活動が認められ、公益財団法人日本さくら会から平成30年度「さくら功労者」に選考されました。



花や土に接することは、五感を刺激し園芸療法の効果があるそうです。興味のある方は、是非花の会の活動へご参加をお願いします。



土屋 貴 議長

議会の動き

議長の活動

9月

・ 県町村議会議長会総会
(静岡市)

10月

・ 賀茂郡町議会議長会総会
(南伊豆町)

・ 静岡県町村議会議長会
総会及び研修会(静岡市)
※1

・ 賀茂郡町議会議長会議
員研修会(当町)

・ 県町村議会議長会議長
県外調査(滋賀県、京
都府)
※2

11月

・ 町村議会議長全国大会
及び賀茂郡町議会議長
会県外視察(東京都)

● 町議会活動及び常任委
員会

9月

・ 社会福祉法人河津町社
会福祉協議会理事会
・ 河津町共同募金委員会
運営委員会

10月

・ 議会広報編集委員会
・ 河津町議会第2回臨時
会

11月

・ 議会広報研修会(静岡
市)

・ 議員説明会

・ 東部社会教育関係者等
研修会(東伊豆町)

・ 河津町社会教育委員会
・ 白馬村表敬訪問及び行
政視察(長野県)

・ 定期監査報告
12月

・ 議会運営委員会
・ 議会広報編集委員会

● 議長に要請のあった諸
会合

9月

・ 「秋の全国交通安全運
動」

10月

・ わかば保育園運動会

・ 町制施行60周年記念式
典

11月

・ 河津町戦没者招魂祭
・ 河津町社会福祉大会
・ 伊豆縦貫自道車道建設
促進期成同盟会要望活
動(名古屋市)

・ 青少年の主張大会
・ 「華の町 普代村」構
想プロジェクト記念植
樹式(岩手県普代村)

・ 河津町教育講演会

12月

・ しずおか市県市町対抗
駅伝競走大会(静岡市)

・ 姉妹商工会交流事業
その他

各運動会、各秋まつり、
伊豆の踊子文学祭など

※1

静岡県町村議会議長会
とは、県内12町で構成す
る議長の集まりで、町議
会の円滑な運営と地方自
治の振興を図る事を目的
としている。総会では、

県の施策・予算に対する

要望・提言書を提出して
いる。研修会では、皇室
ジャーナリスト 久能靖
氏による「知られざる皇
室」の講演が行われた。
※2
視察先 京都府精華町議
会 議会活性化・議会改
革に向けた取り組みにつ
いて視察をした。



議会本会議の会議録が河
津町のホームページで閲
覧出来るようになりました。
「河津町議会議録」で
検索

河津町議会では「虚礼廃止」を申し合わせています。
議員の年賀状などの挨拶状は廃止しています。この
紙面を借りてご挨拶に代えさせていただきます。

編集後記

まず、手に取ってもら
える議会だよりをめざし、
編集作業を行ってまいり
ます。今後はアンケート
調査を始め、皆様の声を
聞きながら編集していま
います。(上村)

議会広報編集委員会

- 委員長 上村和正
- 副委員長 大川良樹
- 委員 桑原 猛
- 渡邊昌昭
- 遠藤嘉規

定例会の日程は、河津
町ホームページでも確認
できます。

議会だよりは、年4回
(2月、4月、7月、10
月)発行しております。
次回は4月17日発行予定
です。

〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2
shizuoka.jp
gikai@town.kawazu.

議 会 傍 聴 歓 迎 し て お り ま す 。